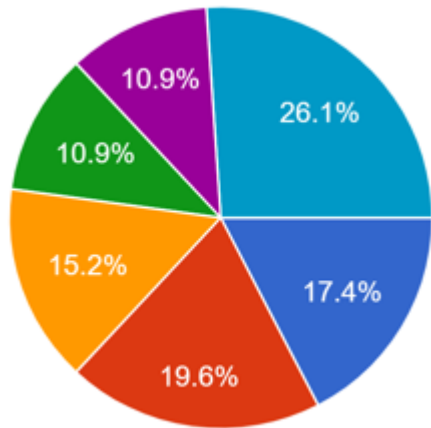


2024.10.12

「術中の急変時の対応 I」アンケート結果

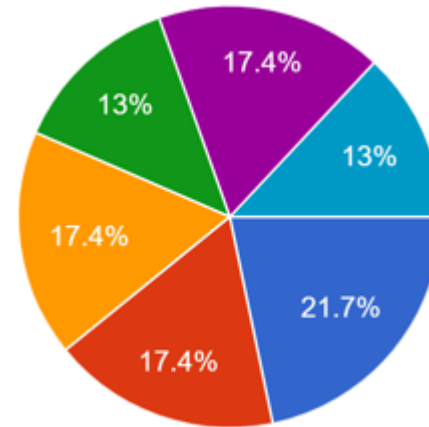
参加者：52名 アンケート回答：46名（回収率：88.5%）

1. 看護師経験年数について



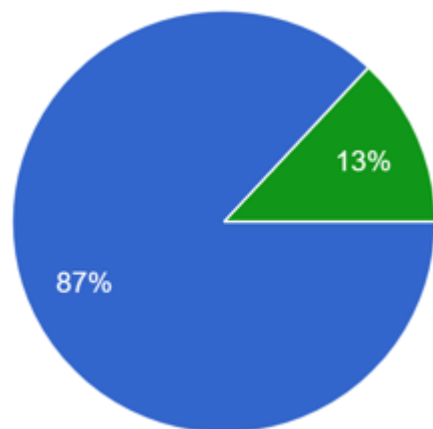
- 0～3年未満
- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10～15年未満
- 15～20年未満
- 20年以上

2. 手術室看護師経験年数について



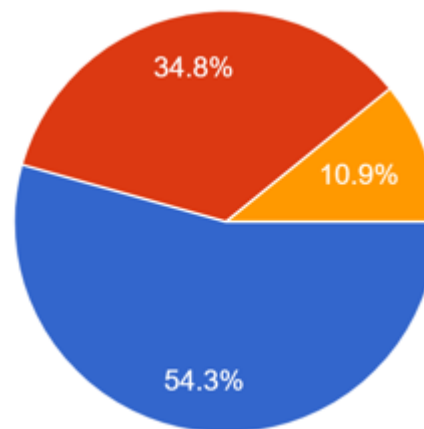
- 0～3年未満
- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10～15年未満
- 15～20年未満
- 20年以上

3.参加地区について



- 関東甲信越地区
- 北海道地区
- 東北地区
- 東海地区
- 北陸地区
- 近畿地区
- 中国地区
- 四国地区
- 九州地区

4.満足度

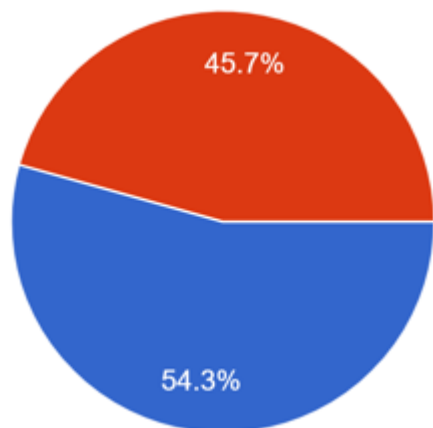


- とても満足
- 満足
- 普通
- 不満
- 非常に不満

4.の理由

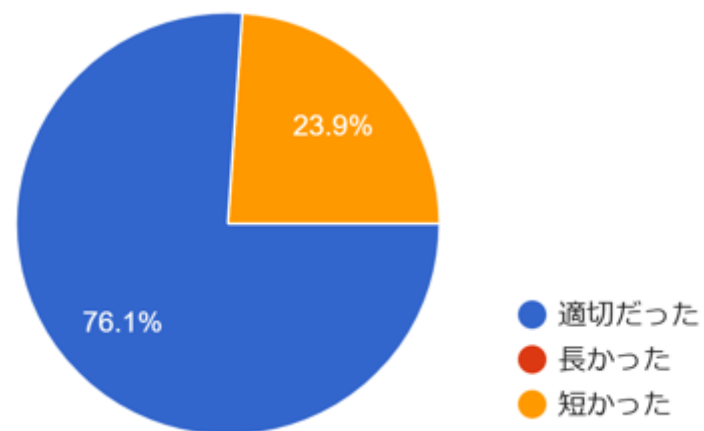
- 講義内容が丁寧でした 先生のご講義がとてもわかりやすかった とても興味深く解りやすかったです
- 聴き取りやすい 分かりやすい内容で理解しやすかった。今後の業務に役立つ内容だった。
- 基礎的な急変対応について学べた 今後の業務に役立つ内容だった。
- 様々な症状に関しての内容があったため 起こりうる急変全般について学ぶことができたため。
- 手術室で起こり得る急変と、その時に必要な具体的な対応を知ることができたため。
- 具体的な対応方法が分かりやすく説明があり、今後の対応にすぐに活かそうであったため。
- エラー発生時の対応について知ることができたため。 急変時対応について理解できた
- 急変時の対応で疑問点が解決できたから
- 現在当院で取り組んでいる内容である 大量出血や手術室火災 今、取り組んでいる課題だったので
- 急変対応については当病院でも研修項目に入っており知識の向上をすることが出来ました
- 実際の事例で説明してくれてわかりやすい 具体例を提示されてわかりやすかった
- 最近、実際にロクロニウムでアナフィラキシーが疑われる症例があり、今回の講義で再確認ができました。
- 実際に現場で体験した急変事例を思いおこしながら、予防策や対応を再度考えることができた。
- 現場での看護に役立つ内容であったため
- 自己学習していた急変対応に関して、経験豊富な医師から講義をしていただくことで知識の再確認や対応方法などを知ることができた。
- 医療安全の視点が関与してあったのも良かった
- 曖昧だった危機的出血と大量出血の概念や、局麻中毒に、ついて理解出来た。またジャストルーティンオペレーションの動画はすごく見て勉強になった
- 看護師に求めること、という視点での内容は、自分の行動のガイドになりました。直ぐに活かそうです。
- 病院内での緊急時のシュミレーションや講義が少ないためとても参考になった。
- これまで手術室における急変対応にあたったことが一度しかなく、また所属する職場の緊急時対応方法やマニュアルが殆ど整理されていない状況です。手術室で遭遇するであろう急変の内容とチームのあり方について詳しく学ぶことができました。今後職場にて統一した対応方法や心構えを持てるよう、本日の学びを活かしていきたいと思えます。2月も楽しみにしています。貴重なお話をありがとうございました。
- 聞き取りやく、講義内容もまとまっていて、わかりやすい説明で理解できた。こう少し難しい内容も聞いてみたくなった。
- 若干資料のページが前後違ったり少し混乱したため
- 時間の関係で講義内容が変更されたため。
- 時間短縮のためフルで聞けなかったため
- 内容が盛りだくさん。術中の急変には多く状況があることは理解できますが、急変対応 I とIIに分けておられるのであれば、内容を詳細にしてくださいかった。

5.日々の手術看護に活かすことができるか



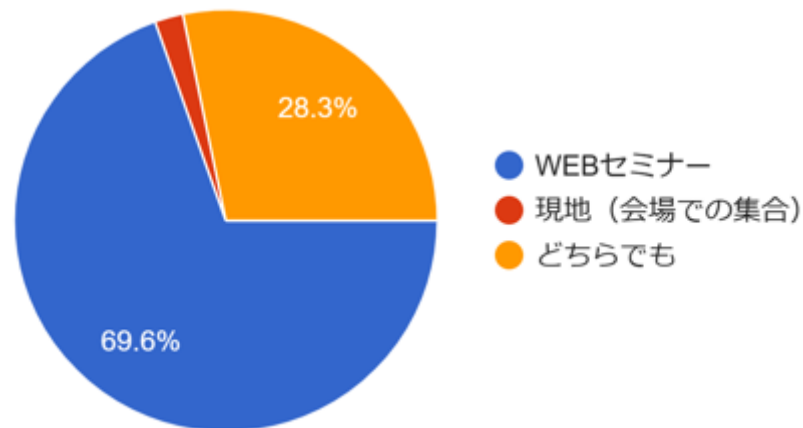
- おおいいにできる
- できる
- わからない
- できない
- 全くできない

6.セミナーの時間について



- 適切だった
- 長かった
- 短かった

7.今後のセミナーの開催方法についての希望

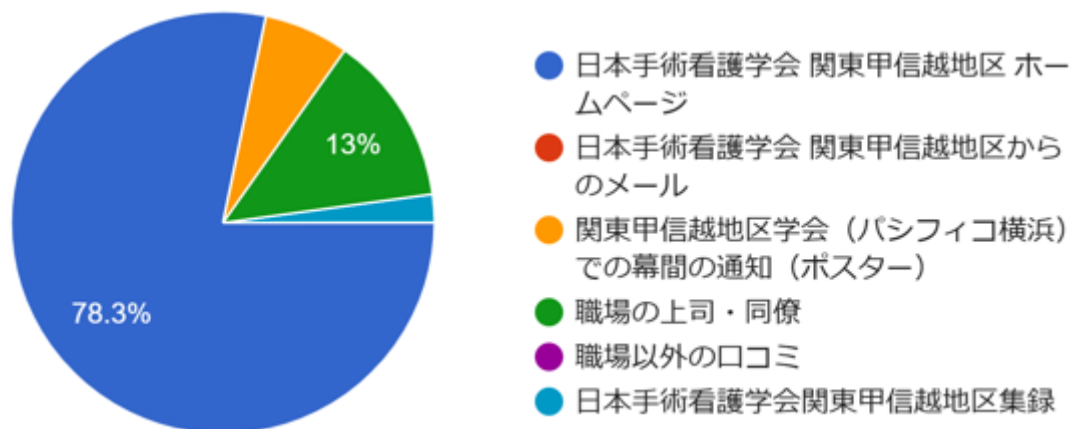


- WEBセミナー
- 現地（会場での集合）
- どちらでも

8.今後、期待するセミナー

- 周術期
- APS
- 超高齢患者の麻酔
- チームワークの取り方
- 術前看護について
- 急変対応について
- 感染対策の視点から見た器械出し看護
- 麻酔器について
- 術前のリスク評価
- 特になし。
- 術後疼痛
- 麻酔看護
- 手術室の体位固定について
- 急変対応やACP活動について
- 悪性高熱についてもまた聞きたいです。
- 心臓麻酔重症患者対応について
- 術中体温管理
- 膝置換など整形外科手術のセミナー
- 小児麻酔の急変時対応
- 麻酔について
- 術中の体温管理について
- 器械だしに関する事など
- 現場ですぐ生かせるような身近で起こりうる内容
- モニターの見方、モニターから予測できる変化
- 麻酔関連
- 急変時対応の具体的なシミュレーション方法について
- 特にありません
- 手術に関する器材管理について
- 小児麻酔や産科麻酔
- 各術式の流れに対し外科医、麻酔医が注意していること観察のポイント 実際の現場の声
- 新人教育や人材育成に関するテーマ
- 災害看護について講義をして欲しい
- 急変時の対応は今後も続けてほしいです。開心術の看護に関するセミナーがあれば参加したいです。
- 緊急時のシミュレーションができる研修を開催して欲しい。現場でのシミュレーションに役立てたい
- 周術期外来について
- 周手術期の疼痛管理
- 看護師でもわかる麻酔科モニターの見方
- 術前外来に期待されることが知りたいです。
- 指導や教育方法など
- 新人看護師向けの外回り看護師における重要な視点などのセミナーがあればありがたいです。
- 急変時のシミュレーションなどの他施設の実際の映像での振り返りなどもあるととても参考になる。または、モニタリングの見方や維持など
- 周手術期におけるアレルギー対策(ヨードアレルギーやラテックスアレルギーを含む) 術後訪問 周手術期の看護診断(学会の記録の勉強会は看護過程の内容でした。内容も10年前に受講した内容とほとんど変わらないような気がして、とても残念でした。もし、記録の勉強会を開催する際は、看護過程をベースにするのか、看護診断なのかを明確に記載していただきたい。)
- 急変対応のシミュレーショントレーニングを行う上でのシナリオ共有、シミュレーショントレーニングしてみたいと思いました。
- 挿管困難や腹臥位での急変など様々な困難症例特集の症例報告、その時麻酔科は・看護師は何を考えどう動いた具体的なものも知りたいです。またうちでは、こんな工夫をしていますなど、みんなの知恵袋的な内容。神経ブロック特集。
- 体位のこと、急変自時に看護師はどう行動する

9. 今回のセミナー開催を何で知りましたか



10.その他、ご意見・ご感想などありましたらご記載ください

- 前は質問が名前を名乗ったり顔を出した状態で、というものでしたが、今回は司会の方からお伝えいただけだったので質問しやすかったです。ありがとうございました
- 今回もご講義ありがとうございました。
- 貴重な時間をありがとうございました。この講義を生かして日々の業務に努めていきたいと思ひます。
- 内容は良かったが、時間が短かすぎるような気がしました。
- 受講証明書は、受講直後から受け取れると助かります。数日後からの受け取りは忘れてしまう。前回のセミナーの時は忘れてしまひて、受講証明書を受け取ることができなかつた。
- とてもわかりやすい講義ありがとうございました。